

2025 年 8 月 21 日

■+■-----
+■┐ 中部防災推進ネットワーク
メールマガジン Vol.58
■┐-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、
メールマガジン（2025 年 8 月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の
発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに
掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>
[http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-
nw.html](http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html)

1. 本ネットワークの参画団体のご寄稿

（1）一般財団法人日本気象協会 中部支社

日本気象協会中部支社の■■■■と申します。
第 26 回勉強会（5/23）に参加させて頂き、福和先生による
南海トラフ巨大地震被害想定報告書等に係るご講義と、
最近の地震に係る動向に関して個人的所感を述べさせて
いただきます。

今回の勉強会では、南トラ地震防災対策推進基本計画の
見直しについて、改めて知る良い機会を頂きました。
特に地盤・地形のデータ更新による地震分布と津波高さ
の再計算により、日本の面積の約 3 割、人口の約 5 割は
何らかの影響受けることや、前回の平成 26 年基本計画
に比べて浸水エリアの増加が示され、死者想定数は大きく
変わらないものの、津波による全壊棟、停電、通信障
害、避難者、そして資産等への被害は軒並み増加するこ

とが分かり易く整理されておりました。これはあくまでの想定上の計算結果であり、それ以上の被害は十分考えられます。

一方で、具体的に実施すべき対策は、防災意識の醸成やインフラの強靱化や耐震、生活環境の整備や行政からの情報発信や物資のサポートが示され、防災対策を行う事で7～5割も削減とまとめられていました。

弊会は災害時、緊急時において、避難に関する情報や支援者へのサポートにつながる情報配信を行っており、直接的な支援は十分できません。皆様方からこういった場面でこういった情報が必要なのか、防災対策として何ができるのかの情報交換をお願いし、備えていきたいと考えます。

また、今回の被害想定報告書内の防災対策効果試算からは、国民各自が対策を意識することで更なる被害削減ができると確信しました。しかし現状としては、残念ながららいつ来るかもわからない災害への個人的対応は、まだまだ十分ではないと考えています。

今年の夏に広められた『日本で大地震や大津波が起きる』という迷惑な噂（デマ）で人々は大きく振り回されました。

しかし、経済的にプラス面とマイナス面の両面があったと聞いています。科学的根拠がないデマを肯定するつもりはありませんが、具体的発生日を意識したことにより『個人が備える動機付け』というプラス面が一定程度あったと感じています。

今後 30 年以内に発生する確率は 80%程度（令和 7 年（2025 年）1 月時点）とされている状況で、確実に発生するものでいつ起きてもおかしくない、という心構えで対策を実行していきたいと思えます。

今後とも本ネットワーク事務局様を始め、会員の皆様との連携、協力そして情報交換を進めさせて頂きたいと考

えております。

引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。

○自団体の URL

一般財団法人日本気象協会 HP <https://www.jwa.or.jp/>

天気予報専門メディア tenki.jp <https://tenki.jp/>

○文責（一般財団法人日本気象協会中部支社

）

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ

（防災イベントの予定等）

（1）名古屋市経済局 中小企業振興課

○イベント名

①地震シミュレーション訓練

（日時）2025年9月16日（火）13:15～16:15

（概要）地震発生を疑似体験する机上訓練

※グループワークを行います。

②事業継続力強化計画策定支援セミナー

（日時）2025年10月10日（金）13:15～16:15

（概要）事業継続力強化計画の概要、作成手法について

※会場とオンラインのハイブリッド開催です。

○会場

<① ②共通>

名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）4階第7会議室

名古屋市千種区吹上二丁目6番3号

（申込方法等詳細はこちら）

<https://www.p-unique.co.jp/nagoya-seminar/>

（2）静岡県 危機管理部 危機政策課

○イベント名

B O U S A I s

○日時

2025 年 9 月 13 日（土）、14 日（日） 10:00～16:00

○会場

MARK IS 静岡館内イベントスペース

○概要

地域住民への防災意識の向上を目的に、常設の防災情報パネルを設置し、地震・火災・洪水といった災害への備え方を分かりやすく紹介する。

3. 編集後記（事務局・協力団体のひとこと）

中部防災推進ネットワークに協力団体として参加しております、名古屋商工会議所商務交流部です。

さて、先月 17 日、「BCP（事業継続力強化計画）セミナー」を中小企業基盤整備機構中部本部さまとの共催で開催いたしました。

当日は約 40 名の方々にご参加いただき、講師の講演に皆さん熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

近年は地震や豪雨、土砂災害、台風などの自然災害が各地で頻発しています。「災害はいつ・どこで起きるかわからない」という意識のもと、日ごろから備えることの重要性を日々実感しています。

今後も名古屋商工会議所ではこのようなセミナーの開催を始め、中部防災推進ネットワークへの参加を通じ、関係機関や関係者の皆さまと緊密に連携を図りながら地域防災力の向上などに努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。